

## 使いかた (初期設定)

- 1** エアバルブ  
 エアホースと電源コードを本体収納部から引き出し、タイヤのエアバルブにネジ式バルブを取り付けて、時計方向へ回して締め込んでください。
- 2** アクセサリープラグ  
 アクセサリープラグを自動車のアクセサリソケットへ奥までしっかりと差し込んで、自動車のエンジンを始動させてください。
- 3** “電源ボタン”を押してください。
- 4** “単位変更ボタン”を押し、任意の圧力単位を設定してください。  
 単位: kPa・kgf/cm<sup>2</sup>・PSI・bar
- 5** “圧力設定ボタン”(+)または(-)を押して、任意の充てん圧力に設定してください。  
 ※5kPa刻みに設定できます。  
 ※充てん圧力を設定すると自動で現在の圧力表示に切り替わります。  
 ※圧力設定していないときは、最低設定圧力の20kPaに設定されています。
- 6** “電源ボタン”を押すと充てんを開始し、設定値まで充てんされると、充てんを停止します。

## 各部の名称



充てんを開始すると徐々に数値が上がり、設定値に達すると充てんを停止します。

単位換算表

|                     |      |      |      |      |      |      |      |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|
| kPa                 | 50   | 100  | 150  | 200  | 210  | 220  | 230  |
| kgf/cm <sup>2</sup> | 0.51 | 1.02 | 1.53 | 2.04 | 2.14 | 2.24 | 2.35 |
| PSI                 | 7.3  | 14.5 | 21.8 | 29.0 | 30.5 | 31.9 | 33.4 |
| bar                 | 0.5  | 1.0  | 1.5  | 2.0  | 2.1  | 2.2  | 2.3  |

|                     |      |      |      |      |      |      |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| kPa                 | 240  | 250  | 300  | 350  | 400  | 450  |
| kgf/cm <sup>2</sup> | 2.45 | 2.55 | 3.06 | 3.57 | 4.08 | 4.59 |
| PSI                 | 34.8 | 36.3 | 43.5 | 50.8 | 58.0 | 65.3 |
| bar                 | 2.4  | 2.5  | 3.0  | 3.5  | 4.0  | 4.5  |

※安全のため、本製品の最大圧力は450kPaに設定されています。

**大橋産業株式会社**  
 お客様相談窓口: 0120-076-074  
 〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号  
 TEL (06) 6996-2631 (代) 大阪本社 東京支社  
 URL: <https://www.bal-ohashi.com>

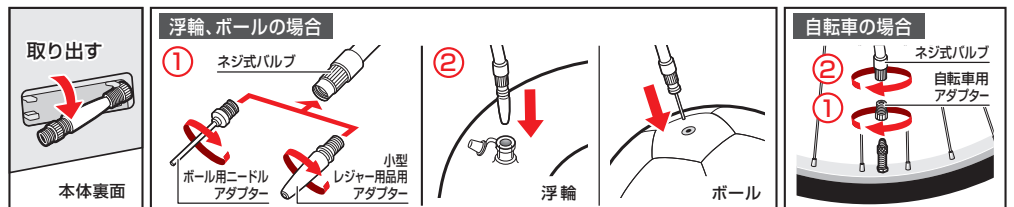
MADE IN CHINA

|    |         |            |       |  |
|----|---------|------------|-------|--|
| 仕様 | 入力電圧    | DC12V      | 本体サイズ | 136(W)×123(D)×56(H)mm                        |
|    | 最大圧力    | 450kPa     | 質量    | 525g   |
|    | 電源コード長さ | 3.3m(有効長)  | 付属品   | 小型レジャー用品用アダプター<br>ボール用ニードルアダプター<br>自転車用アダプター |
|    | エアホース長さ | 400mm(有効長) |       |  |

※最大圧力は、充てんする対象物の容量によって異なります。 ※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。

※デジタル表示パネルの表示は説明用のため、実際の状態を示すものではありません。 ※印刷の関係上、パッケージの写真と実際の商品の色とは多少異なる場合があります。 ※本製品は日本で企画・開発し、中国で製造しています。

## 各種アダプターの使いかた



- 用途に合ったアダプターを時計方向に回してネジ式バルブに取り付けてください。
- 空気を入れる対象物のエアバルブに対して、アダプターをまっすぐに差し込んでください。
- 自転車の場合は自転車用アダプターを先にタイヤのエアバルブに時計方向に回して取り付け、その後ネジ式バルブを取り付けてください。

## タイヤ空気圧表示位置

- 空気圧は運転席ドア付近 (下図 ○ 印) に貼られている「**タイヤ空気圧**」の表で正しい空気圧を確認の上、調整してください。
- タイヤの空気圧は自然に低下します。定期的に空気圧の点検を行ってください。

表示例

| タイヤ空気圧 (kPa [kgf/cm <sup>2</sup> ]) |           |
|-------------------------------------|-----------|
| タイヤサイズ                              | 前・後輪      |
| 195/65R15 91H                       | 200 [2.0] |
| 応急用タイヤ                              |           |
| T135/70D16 100M                     | 420 [4.2] |

※車種によって表示位置が異なりますので、ご使用の車でご確認ください。

## 故障と処置

| 現象                     | 確認および処置  |
|------------------------|--|
| 作動しない                  | エンジン始動させアクセサリソケットに電源を供給してください。<br>電源ボタンを押してください。                           |
| 空気が入らない                | アクセサリプラグを自動車のアクセサリソケットにしっかりと差し込んでください。<br>タイヤのエアバルブにネジ式バルブをしっかりと締め込んでください。 |
| 空気が入らない (アダプター使用時)     | アダプターをネジ式バルブにしっかりと締め込んでください。   |
| 充てんを開始するとすぐに圧力が上昇し停止する | タイヤのエアバルブにネジ式バルブをしっかりと締め込んでください。<br>タイヤのエアバルブやネジ式バルブのゴミを取り除いてください。         |

故障の原因になりますので、以下の内容を守って正しくお使いください。

### 安全上のご注意

- 警告**
- 製品本来の用途以外に使用しないでください。分解、改造などは絶対にしないでください。
  - 本製品はDC12V専用です。他の電圧では使用しないでください。
  - 濡れた手でアクセサリプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
  - 電源コードやアクセサリプラグが傷んでいる場合(芯線の露出、断線、破損)は使用しないでください。感電やショートの原因になります。
  - 使用中に、異常音や異臭、発煙などの異常が発生した場合はすぐに使用を中止してアクセサリソケットからアクセサリプラグを抜いてください。
- 注意**
- 使用中や使用後は本体やホース、アクセサリプラグの先端などが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
  - アクセサリプラグは確実にアクセサリソケットの奥まで差し込んでください。差し込みが不完全な場合、接触不良による動作不良や異常過熱によってアクセサリソケットが故障の原因になります。
  - アクセサリプラグを抜くときは必ずアクセサリプラグ本体を持って抜いてください。電源コードの断線の原因になります。
  - 乳幼児の手の届くところで使用しないでください。ケガの原因になります。

### 使用上のご注意

- 自動車のエンジンを停止した状態で使用しないでください。バッテリーがあがる原因になります。
- 使用中に本体が熱くなっている場合はオーバーヒート状態になっています。電源を「OFF」にして十分に冷却させてから、再度使用してください。
- 連続して10分以上使用しないでください。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 砂地など、砂やほこりの多い地面に直接置いて使用しないでください。
- 水のかかる場所や湿度の高いところで使用しないでください。
- トラックおよび大型RV車のタイヤには使用しないでください。
- ボール用ニードルアダプターを取り外すときは、まっすぐに引き抜いてください。ひねりながら抜いたり、斜めに引き抜いたりすると、アダプターが曲がったり、折れたりする原因になります。